

高^{たか}梁^{はし}市^しの宇^う治^じ小^{しょう}卒^{そつ}業^{ぎょう}生^{せい}ら^いが、か^かつ^て
埋^うめ^たた^いムカ^パプセル^{セル}を^を掘^ほり起^おこし開^{かい}
封^{ふう}しま^した。記^き事^じを^を読^よみ質^{しつ}問^{もん}に答^{こた}えま^ま
し^しょう。

高梁・桜の森公園で宇治小卒業生ら



たかうね桜の森公園でタイムカプセルを掘り起こす参加者

たかうね桜の森公園（高梁市宇治町本郷）で17日、2002年の開園時に地元の宇治小児童らが埋めたタイムカプセルを掘り起こす催しが行われた。20年間眠っていたカプセルを卒業生らが開封し、当時の“宝物”と再会した。（岡崎創史）

20年ぶり
宝物再会

カプセルは公園のオーブンを記念し、宇治小と宇治幼稚園に通っていた子どもたちが駐車場横の一角に埋めた。この日は当時の教諭や保護者を含む約30人が集まり発掘。埋蔵場所を示す目印を頼りに、スコップやくわで代わる代わる掘り進めた。50秒ほど掘ったところでカプセルを発見すると歓声が上がった。

手紙や当時の新聞 タイムカプセル開封



発掘した手紙などを囲み、思い出話に花を咲かせる宇治小の卒業生ら

20年後の自分に宛てた手紙や、人気があったアイドルグループの写真、当時の新聞などが入っていた。参加者は手紙を読んで涙ぐんだり、懐かしい品々を見せ合ったりと、思い出たに浸った。

イラスト関係の仕事をしているという鎌田裕子さん(29)＝倉敷市宮前＝は「手紙には漫画家になりたい」と書いてあった。好きなことを頑張って続けたいと実現できると当時の自分に伝えたい。地方公務員川上翔太郎さん(29)＝高梁市宇治町本郷＝は「20年後ははるか先のことだと思っていたが、実際はあつという間。大人になった同級生と再会できて感慨深い」と話した。

公園は、地元住民と市が協働で整備。約3畝の園内に、新世紀にちなんだ200本のソメイヨシノやシダレザクラを植えて、現在も桜の名所として親しまれている。

さんデジに
動画



さんデジに
動画

Q 1

う じしょう そつぎょうせい なんねん
宇治小の卒業生らは、何年ぶりにタイムカプセ
ルを開封しましたか。

Q3

Q3 ^{いま}今、^うタイムカプセルを埋める
としたら、^{みな}皆さんは^{なに}何を入れた
^{かんが}いですか。考えてみましょう。

Q 2

開封されたタイムカプセルには、どのようなものが入っていましたか。第3段落から抜き出しま

か こ もん だい
過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん^た太^たのワークシート」は自由^{じゆう}にダウンロードして、学校^{がっこう}や家庭^{かてい}での学習^{がくしゅう}に活用^{かっよう}してください。